



12月に寒ブナの地引網にて捕獲された個体。比較的丈夫な魚。北潟湖産 全長：約30cm

フグ科 トラフグ属

【全長】70cm

トラフグ

学名: *Takifugu rubripes*

分布域 日本全国に分布する。

生息域 沿岸部に生息するが、稀に汽水域にも侵入する。



汽水での飼育にも耐えるが海水が良好。

主に沿岸部や内湾に生息する。幼魚や未成魚は河口部など汽水域にも侵入する。全長は最大で70cmに達する大型種。胸鰭後方に白く縁取られた黒色斑紋があり特徴的。臀鰭は無色でやや赤味を帯びる。口には包丁の様な鋭い歯(上下一枚歯)がある。食性は動物食で甲殻類や小魚を食べる。産卵期は春～初夏で沈性粘着卵を産む。身や皮は無毒、美味しく高級魚として扱われる。卵巣や肝臓には強い毒があり、食べる場合はプロにまかせよう。各地で養殖もされる。

水槽での飼育は可能。飼育には海水を用いる。餌は活きた甲殻類を与える。水槽の環境や人間にも慣れ、比較的丈夫。

在来種

周縁魚

※ フグの毒は自然界で食べた餌に含まれたものを、体内に蓄積したものだといわれる。鋭い歯を持つ。噛みつかれると怪我をするので注意が必要。